

3つのスタートラインに立つ君たちへ！

＜令和3年4月8日 入学式 校長式辞より抜粋＞

新入生の皆さんは、今日ここに晴れて山潟中学校の一員となりました。そしてそれは同時に、3つのスタートラインに立った瞬間だと考えます。

1つ目のスタートラインとは、義務教育九年間の後半戦のスタートラインです。小学校での六年間に続く中学校での三年間は、授業は教科ごとに先生が変わり、部活動も大きな学校生活の一部となり、これまで以上に多くのことを学び、多くの人間と関わりをもつこととなります。

2つ目のスタートラインとは、新時代の幕開けのスタートラインです。既にすべての小中学校でI P A Dが配られました。中学校でもI Tを活用した授業、G I G Aスクールが本格的に始まります。

3つ目のスタートラインとは、大人になる階段のスタートラインです。この3年間で、見違えるほど心も体も大きく成長します。様々なことに悩み苦しみ、それ以上にかげがえのない有意義なことを経験することで、社会に羽ばたく基礎を身に付けるのです。

さて、そのような人生の大事な大事な舞台のスタートラインに立った君たちには、逆風すら順風に変えるたくましい人間になってほしいと願うのみです。

そのために、3つの言葉を贈ります。それは、「創意工夫」・「協働」・「忍耐」です。今まで以上にだれもが経験したことの無い予測困難な時代が待ち受けています。自らが学んだことを生かし知恵とアイデアを創出すること。人と人との絆を大切にいただれとでもコミュニケーションできる力を養い、周囲と協力・連携して課題解決を図ること。最後まであきらめずに、粘り強く困難な問題にも逃げずに立ち向かうこと。

「創意工夫」・「協働」・「忍耐」。この三つのキーワードを日々心に刻み、社会の多様化・複雑化・情報化がいかに進もうとも、社会で通用する、社会とともに成長できる、社会に貢献できる、そんな人間としての素地を、この山潟中学校でしっかりと身に付けてほしいのです。

私たち先生方は、皆さんと喜怒哀楽を共有し、皆さんと感動を分かち合い、皆さんの成長に関われることを最大の喜びにしながら、全力で皆さんを支えていきます。

山潟中学校の生徒で良かった、この山潟中学校の仲間や先生方に出会えて最高だった、この地域の住民で良かった、そして、お父さんお母さんの子で本当に良かった、と、みんなに思ってもらえる、そんな温かな学校をめざしていきます。